

保育闘争委員会ニュース
公的保育を守り拡充させよう

2012年
11月20日(火)
第89号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

11月19日の東京自治労連中央執行委員会で都知事選挙での宇都宮健児さんの推薦決定を受けて、保育闘争委員長、保育部会長連名のアピールが出されました。

宇都宮都知事を誕生させ、東京の保育を拡充させましょう

2012年11月19日

東京自治労連保育闘争委員長 田川英信

東京自治労連保育部会長 木村宏子

石原都知事の突然の辞任により、12月16日投票で都知事選挙が行われます。

1972年まで12年続いた美濃部革新都政は、国を大きく上回る保育の都基準を制度化し、保育園の大量建設と合わせ、全国に誇る東京の保育を都民とともに作り出しました。

しかし、その後続いた保守都政は、東京の保育を徐々に掘り崩すとともに、石原都政に至り、「認証保育所をテコに認可保育所の世界を壊していく（東京都福祉局部長会議）」として、「子ども・子育て新システム」の先取りの保育の市場化を進めました。

このような都政のもとで、公立保育園の民営化が広がってきました。

今回の都知事選挙で、大江健三郎さんなど40人の著名な人々に擁立され、日本弁護士連合会前会長の宇都宮健児さんが、「人にやさしい東京」をかかげて立候補を表明しました。

「子ども・子育て新システム」関連法が成立し、公的保育を守り拡充するうえで厳しさが増しているもとで、東京の保育の拡充のために、宇都宮都知事の誕生が切実に求められています。

宇都宮都知事の実現で、再び東京の保育を全国誇る水準に引き上げましょう。認可保育所の大量建設で待機児童の解消を図りましょう。

子どもたちと保護者、保育士、保育関係者の豊かな保育への願いを込めて、宇都宮さんの勝利のために、保育職場の組合員のみなさんが力を発揮していただくことをこころより呼びかけるものです。

以上

【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください。】